

## APF会議レポート 2024（インドネシア・ボゴール）

## 2024/03 APF会議 会計報告（インドネシア・ボゴール）

摘要	金額
ダックさん自宅～羽田（行き）	¥5,940
マフ高知～成田航空券（往復）	¥55,976
ショーンさん群馬～羽田バス代（往復）	¥9,000
羽田移動日の前日泊（ダック・マフ）	¥16,000
羽田～ジャカルタ往復	¥170,920
キャンセル費用補償保険	¥13,170
インドネシアビザ代	¥43,755
海外保険（ダック）	¥6,000
海外保険（ショーン）	¥6,000
海外保険（マフ）	¥6,000
インドネシアビザ代加算（マフ）	¥4,768
ジャカルタ空港～ボゴール	¥5,245
APFに献金700ドル	¥106,005
Hotel Santika 宿泊費	¥160,207
ボゴール～ジャカルタ空港	¥5,245
ダックさん羽田～自宅（帰り）	¥5,940
ポケットwi-fi レンタル代	¥17,020
合計	¥637,191
預かり金	¥655,000
残金	¥17,809

・残金¥17,809はRSCに献金済み

## 目次

1. 参加者
2. 格地域の課題と解決策
3. ディスカッション・トピックス
4. NAWSセッション
5. ストラテジックプランニングセッション
6. 提案と決定
7. 会議日程

## 1参加者リスト

	地域・役割	名前
1	APF/FDコーディネーター	アミタブ・S
2	APF/WFDコーディネーター	ディヴィヤ・B
3	APF/ニュースレターコーディネーター	メイサム・M
4	APF/PRコーディネーター	ニタ・P
5	APF/ウェブコーディネーター	バツパ・D
6	APF/マーチャндаイズコーディネーター	カリン・W
7	APF/セクレタリー	ビジエイ・L
8	APF/戦略立案コーディネーター	クレイ・N
9	APF/会計	ハシブ・Y
10	オーストラリア・RD	ジョアンナ・W
11	バーレーン・RD	フセイン・A
12	ブータン・RD	バップ・G
13	グアム・RD	アンディ・T
14	クウェート・RD	ハディール・A
15	ハワイ・RDA	ドミニク・P
16	インドネシア・RD	カデック・J
17	イラン・RD	レザ・Z
18	日本・RD	マフ
19	マレーシア・RD	ズル・Z
20	ネパール・RD	ディルマン・T
21	NERF (インド)・RD	ラジブ・S
22	ニュージーランド・RD	ティム・P
23	オマーン・RD	バシル・A

	地域・役割	名前
24	パキスタン南・RD	アリ・R
25	フィリピン・RD	レナン・T
26	シンガポール・RD	キャサリン・A
27	SOSONA（インド）・RDA	カランプリート・S
28	タイ・RD	マーク・W
オルタネイトデリゲート		
29	オーストラリア・RDA	マルコム・J
30	日本・RDA	ダック
31	ニュージーランド・RDA	ダニエル・K
32	シンガポール・RDA	ウィリー
33	オマーン・RDA	アミール
その他の参加者		
34	NAWS/ボードメンバー	ヴェロニカ
35	NAWS/ボードメンバー	リブ
36	アフガニスタン・RD	ラハマト
37	APF/ゾーンデリゲート	アッシュ
38	日本・通訳	ショーン・S
39	日本・通訳	ゼイン
40	法人化ワークグループ	ロジャー・S

## 2. 地域社会の課題と解決策

ファシリテーター：（ディヴィヤ/アミターブ/ウィリー）女性FD/FD/シンガポールRD

### ハワイ

課題：サービスメンバーの確保と維持

解決策：・オールドタイマーを確保し、サービスをしてもらう  
・コミュニケーションを絶やさない

### シンガポール

課題：地理的に小さいため、サービスの重複やギャップがある。

解決策：・伝統に関する知識が不足している  
・APFは伝統のワークショップを検討している

### インドネシア

課題：多くの文献がバハサ語に翻訳されていない。FD ワークショップが必要

解決策：・バハサ語の文献がなく、トラステッドサーバントの問題  
・メンバーは多いが、サービスをする勇気がない

- ・英語を話すメンバーとバハサ語を話すメンバーの対立
- ・近隣コミュニティと合同ワークショップを行う。翻訳作業について話し合う

## 日本

課題： オンライン化によるコミュニケーション不足（一体性の欠如）

解決策： ・オンラインミーティングにはメリットとデメリットがある

- ・ミーティング前後の雑談がなくなった
- ・ミーティングに参加する情熱がなくなった
- ・オンラインミーティングはフェローシップに影響する
- ・女性のメンバーがオンライン・ワークショップを受けた後、良い影響を受けた
- ・対面式の大きなミーティングを開催し、海外のスピーカーを招く
- ・オンラインミーティングの前後にバーチャルで親睦を深める
- ・親睦を深め、スポンサーシップでつながる
- ・ミーティングではカメラに向かって座り、フェローシップに参加する

## クウェート

課題： アラビア語文献の不足

解決策： 翻訳作業に参加する

## マレーシア

課題： サービスの経験と知識、クリーンタイム、スポンサーシップ、ステップ、伝統と概念、H&IとPR

解決策： ・近隣リージョンとの調整

- ・バーチャルでもワークショップを実施できる
- ・対面式のNAイベントを開催

## ネパール

課題： 治療センターでNAのロゴとプログラムを使っている

解決策： ・広報が治療施設を訪問し、話し合う。施設内にロゴを入れない

- ・FDがワークショップを行う

## 3. ディスカッション・トピック

ファシリテーター： クレイ（戦略計画コーディネーター）

### APFの今後の日程

問題： ネパールリージョンのイベントとAPFのイベントの日程が重なっている。

解決策： ・地理的に遠くない場所でイベントを行う。

- ・ローカルイベントの後にAPFイベントを行う。

### 地理的な課題

ニュージーランド：2つの地域から多くの参加があるが、他の地域では参加者が少ない。地理的な問題から、多くの孤立した地域はより多くの支援を必要としている。

フィリピン：マニラ以外の地域に会員が少ない。ミーティング場の不確実性。

グアム：ミーティング場がメンバーと共に変わる、ミーティングを行うためのサポートを施設に頼らない。ミーティング場の不確実性。

解決策： コミュニティセンターを非政府組織として安く利用する。

#### 現地語の文献翻訳が十分でない

会議に参加するグループが不足している。  
25%がH&Iである。

解決策： ・グループを会議に招待する。  
・コミティ間で調整をする

バーレーン：いくつかのグループがコミティから脱退し、新しいコミティを結成している。

#### コモン（共通の）ニーズコンベンション

2019年セブコンベンションのスペシャルコンベンション参加者数は30~40人、2022年ミンダナオ大会の参加者数は90~100人、同様にSOSONAのウーマンズコンベンションの参加者数は120人。

解決策： ・コモン（共通の）ニーズコンベンションのガイドラインを作る。  
・（会場に入れたい仲間のために）同時にオープンミーティングを行う

#### シーティングリクエスト（議席権）の話し合い

(会議の安全を確保するため、ファシリテーターはオブザーバーや投票権を持たない参加者に、バーチャルに参加しているオブザーバーも含め、会議場の外にとどまるよう要請した)

問題点：

- ・ガイドラインに明確な指針が記載されていなかったため、勧告だけでなく決定もできなかった。
- ・マーチャンダイズ・コーディネーターが古いガイドラインを読んだ

解決策：

- ・ガイドラインの古い点を再掲する。

- ・新しいコミュニティは、1年間一貫してNAメンバーまたはグループにサービスを提供し、APF管理委員会と最低6ヶ月間一貫して連絡を取り続けた、統一されたサービス団体として機能した後、APFに席を申請する資格がある。
- ・APF管理委員会は、ニュービジネスセッションの中で、新しい地域の議席についてファシリテーションを行う。この促進セッションは、管理委員会が新しい地域からの要請書を読み上げ、管理委員会がこれまでのコミュニケーションと、APFにそのコミュニティを着席させることによるフェローシップへの利益を詳細に報告することで構成される。分裂したコミュニティがAPFへの出席を希望する場合は、分裂元のコミュニティからの推薦が必要となる。

#### トラステッドサーバントレポート（報告書）について

解決策：管理者は、管理者会議でのRDのオブザーバー参加を含め、逐次デリゲートに報告する。

#### 課題：NAメンバーが強制的に治療施設に入れられる

解決策：地域に根ざした組織が、私たちの代弁者となる。

#### 課題：ズームやソーシャルメディアにおける回復の雰囲気

解決策：パンフレットの作成

#### 課題 外的要因：NAがハームリダクションとどう共生していくか？

解決策：

- ・ホームレスやメサドンクリニックへのアウトリーチを行う。
- ・ソーシャルメディアでIPを使う
- ・タイマーを使い、クリニックのクライアントをミーティングで共有させる。
- ・NAとクリニックの間の誤解を減らすために、NAはお金ではなく、回復を求めている。

#### 課題 内部的な問題：匿名性が崩壊している

解決策：

- ・バーチャルミーティングによるアウトリーチ
- ・スピリチュアルで経験豊富なメンバーとの親密な関係
- ・世界の経験豊富なメンバーとのつながり

#### 課題 匿名性をいかにサポートし、維持するか

解決策：

- ・経験豊富なメンバーを利用する
- ・バーチャルミーティングに参加する
- ・伝統とスピリチュアルプリンシプルを適用すべき
- ・全員を参加させ、奉仕活動に参加させる

#### 課題 広報（PR）

解決策：

- ・もっとPRすべき

- ・ハームリダクションについてもっと知る必要がある
- ・広報や医師の専門家に相談する
- ・トラステッドサーバントの育成と開発
- ・トラブルシューティングのポイントパーソンを常に持つ
- ・他の人の経験をもっと耳を傾け、理解する
- ・サービスメンバーを補完する
- ・サービスの楽しさを味わう

#### 課題 物理的なミーティングや貢献（献金）の減少

解決策：QRコードや銀行口座のような寄付の仕組みを作る。

#### 略奪行為について

解決策：・味方（アライ）になる方法についてのワークショップを開催する。

- ・前文を読む
- ・ミーティング内外で
- ・テーマに関するさまざまなワークショップを開催する

## 4. NAWSセッション

ファシリテーター：ワールドボード（ベロニカとリブ）

以下のような質問が用意され、参加者はディスカッションを行った

セッション1：毎回、以下の質問を用いて話し合う

1. この要素は、メッセージを伝える能力にどのような影響を与えますか？
2. 私たちのゾーンにおいて、この要素はどのような影響がありますか？
3. 取り組むべき主な課題は何か？

セッション2：セッション1の優先課題について、以下の質問を使って話し合ってください

1. これらの問題に取り組む上で、私たちにはどのような気づきがあったか？
2. 現在のアプローチをどのように取り入れれば、この問題がより深刻でなくなるか？
3. どのような新しいアプローチが考えられるか？

参加者から集められたディスカッションのアイデアは以下の通り；

#### 安全性に関する課題

- ・人種差別—小さなグループが形成され、他のグループを排除している。
- ・略奪的で破壊的な行動—狭いミーティング会場。そのため外に座るメンバーもいて、回復の雰囲気損なう。
- ・女性メンバーが少ない—安全ではない経験をして、メッセージを聞いていない。
- ・オールドタイマーの態度が問題を生む（個人の問題）

- ・メンバーがアルコールは別だという扱いをしていたため、あるミーティングが混乱した

解決策：

- ・女性クローズドミーティングを増やす
- ・歓迎する人を確保する
- ・スポンサーシップを奨励し、ステップに取り組み、原理に従って生きる（私たちは皆同じです）
- ・ユニティデイにこれらのテーマについてのワークショップをする
- ・いつもうまくいくとは限らない

### テクノロジーの進化に関する課題

- ・匿名性の伝統 - テクノロジーを使ってメッセージを広めるが、匿名性は破らない
- ・テクノロジーを役立てる準備の背後にあるもの
- ・ハイブリッドと対面式のバランスをうまくとること
- ・ZoomはNAへのアクセスを容易にしたが、回復の雰囲気を変えてしまう。
- ・オンラインにおける匿名性 - NAとつながっていることで、人々は判断されてしまう。

例：ミーティング（ズーム、対面、NAイベント）の写真が、NA以外のソーシャルメディアチャンネルに投稿される。

- ・NAのメッセージは曖昧で、テクノロジーは私たちが対応するよりも早く進化している。
- ・新しい仲間やオールドタイマーのほとんどが、アンドロイドや最新技術の使い方を知らない（クリアなメッセージから遠ざかっている）
- ・新メンバーもオールドタイマーも、物理的な出会いが減少している。
- ・伝統7の減少（エリア/リージョンによる資金調達やFDなどの活動が困難）
- ・オールドタイマーによる新しい技術の拒絶（新しい仲間は拒絶され、汚名を着せられたと感じる）
- ・インターネットのフィルタリングとその限界
- ・zoomの高額な費用と、財政不足
- ・古い仲間によるサポートの欠如
- ・匿名性が破られ、伝統が守られない。
- ・身体の不自由な仲間のニーズに適している。物理的なミーティングが不足すると、感情的・精神的なつながりが薄れる。物理的なミーティングの質を体験できない。貢献（献金）の問題。心地よい場所を作り出し、孤立を生み出す（依存症者は依存症者の中で回復する）
- ・伝統7のバスケットを支援するには？匿名性の問題

解決策：

- ・NAは秘密ではないが、人々は秘密である。NAはベストじゃない。一私たちには効く
- ・匿名性とその意味についてのコミュニケーション

- ・パンフレットは？ソーシャルメディアと匿名性、ズームミーティングで回復の雰囲気高めるためのガイダンス
- ・経験豊富な司会者と技術サポート担当者を置く
- ・銀行口座の情報とQRコードを公開し、パンデミック時の経済的困難を再認識させる。
- ・オールドタイマーに、新しいテクノロジーは有効であり、私たちは経験、強さ、希望を分かち合っていることを伝える。
- ・リモートだと遠隔地にアウトリーチできる
- ・スピリチュアルで影響力のあるメンバーと親しくなる可能性
- ・他地域のメンバーとの交流や、世界中のNAと知り合うことができる。
- ・まだ薬を使っている仲間の参加と、その仲間にメッセージを伝えるチャンスがある。
- ・APFのサーバントをズームミーティングに参加させ、彼らとの交流を深める。
- ・バーチャルミーティングでメンバー同士の距離を縮める。NAWSやAPFのサーバントのミーティングのように、経験豊富なメンバーを使い、お互いの距離を縮める。イラン国外のペルシャ語話者がバーチャルミーティングに参加する。
- ・このようなミーティングでは、伝統の精神的原則を適用すべきであり、バーチャルな財政的方法を利用・適用することによって、第7の伝統のバスケットを遵守するよう努める。
- ・オンラインミーティングを活用することで、調整会議を減らすこともできる。
- ・どちらのミーティングにもメリットとデメリットがあることを知る。物理的な方が良いという考えから、バーチャルをやめてみる。我々は新しい世代であり、適応する必要がある。より多くのオブザーバーにAPFのワークショップを体験してもらうことで、私たちが忘れてはならない個人的な変化をもたらす。

### ハームリダクション・アプローチの課題

- ・薬の量が多いと、メッセージを正しく聞いたり、メッセージを伝えたりすることができない。
- ・日本では、処方薬を別の治療法として使用するため、薬物依存症になる可能性が高い。
- ・処方薬とそうでないものについての見解の相違からくる論争
- ・政府はDRTを義務付けない
- ・政府はDRTを生涯無料にする。メッセージはまちまちである。完全なクリーンとDRT/MAT。私はクリーンか？メッセージを伝えているか？ハームリダクションメッセージを伝えることができる。そのままで良いため、回復を求める依存症患者が少ない。
- ・主な課題：複数の選択肢 - 回復か、政府が提供する薬物療法か
- ・一部のコミュニティでは、政府がDRT/MATを提供している。薬物療法が「セルフメディケーション」の代わりになるため、依存症者は回復の必要性を感じない。

- ・いくつかのリージョンでは、アディクトは完全に解毒するまで施設を出ることができない。
- ・あるリージョンでは金で動いている。DRTは収益化を推し進める
- ・薬物療法（ハームリダクション）を受けている人々は、薬物療法で十分だと感じており、メッセージを聞こうとしない。
- ・ストリート・ホームレスが、利益のために集会に来る
- ・他のフェローシップに行ったり、間違った認識を持っている
- ・薬物治療中の人を（NAが）受け入れない
- ・治療中の人安心して分かち合えない
- ・ハームリダクションのIPがなく、新しい世代に適切なコミュニケーションができていない

#### 解決策：

- ・他の経験を聞くことで理解を深める。サービスをしているメンバーを褒める
- ・やらせるのではなく、一緒にやる。コミュニケーションをもっと熱く。できるだけ楽しむ。
- ・ハームリダクションについてもっと知る。ハームリダクションのメリット。医者や医療機関とのコミュニケーション。薬を早く減らしすぎると、深刻な心理的問題を引き起こす可能性がある。
- ・NAのポスター、PSA、PRプレゼンテーション
- ・メッセージを伝え続ける。たとえ1人だけがメッセージを聞いてDRTをやめたとしても、私たちはメッセージを伝えることに成功している。
- ・新しい世代のライフスタイルに対応する（新しい方法に適應する）解決策を見つける。（ソーシャルメディアなど）
- ・ハームリダクションによる回復のためのIP

#### 略奪的・破壊的行動に関する課題

- ・メンバーが危険を感じ、来なくなる
- ・不適切な行動に対する認識の欠如（対処法がわからない）
- ・迷惑行為や不適切な行動への対処法に関するガイドラインが確立されていない

#### 解決策：

- ・「味方（アライ）になる方法」に関するワークショップを開催し、メンバーが自分の行動についてより自覚的になるようにし、読み合わせに会議内外での略奪的・破壊的行動に関する記述を追加した。
- ・ホームグループのメンバーが、日常生活の中でスピリチュアルプリンシプルや適切な行動をどのように実践し、適用しているかを共有するために、定期的なトピック

ク/スピーカー・ミーティングを行う。不適切な行動に関する声明を書式に加える。

- ・トピックに関するさまざまなワークショップを開催する。
- ・愛をもって期待はせず、メンバーと一対一で接する。

#### トラステッドサーバントの育成に関する課題：

- ・トラステッドサーバントの不足／新人の参加
- ・経験不足／自信不足-喜んでサービスしない（新しいメンバー）、十分なクリーンタイムがない。
- ・オールドタイマーにサービスをしてもらう、あるいはサービスを続けてもらう
- ・方針を変えること、より包括的になることへの反発
- ・文献が入手できない
- ・文献をバーチャルで共有する
- ・過労、過負荷。もう楽しくない。プレッシャー。乱暴に扱われる。やる気の欠如。あきらめにつながる。楽しくないのを目の当たりにする。辞めた方が幸せ。古株が長く勤め上げることで、新メンバーが育たない。新しい視点の欠如は、古いメンバーの支配的で傲慢な態度のせいである。

#### 解決策：

- ・包括性、オープンマインド、クリーンになった経験やクリーンを維持した経験のあるメンバーを上げまし、その方法を共有する。

## 5. ストラテジックプランニング（戦略計画）セッション

ファシリテーター：クレイ（戦略計画コーディネーター）

SPコーディネーターがこれまでのプロジェクトの成果を共有した。

#### ストラテジックプランニング／プロジェクトのレビュー

- ・サービスの惹きつける魅力
- ・女性のエンパワーメント

前サイクルの目標2に焦点を当て、女性のエンパワーメントに焦点を当てた議論が行われた。

目標1：APFゾーンにおいて、NAは女性にとって安全な場所であり、適切な行動をするための明確な期待を設定する。

様々な目標の中で、以下の問題が会議で支持された。

- ①一体性の欠如
- ②略奪行為の助長

## 資源配分セッション（APF内の資源をどのように使うか）

## プロジェクト#1 ①一体性の欠如

- ・ APFのトラステッドサーバントがローカルのサービスコミティの会議に出席できるようなプロセスを作る。
- ・ FDはローカルのコミティと協力して地域でのイベントを開発する。
- ・ FDワークグループが上記のプロジェクトを実施するのを支援するため、以下のメンバーを選出した。

ポイントパーソン：ドニー  
ダニー  
マフ  
ダック  
ショーン

## プロジェクト#2 ②会場外での不適切な行動（Predatory behavior）

- ・ 会場の中で話す
- ・ プログラムを生きる
- ・ フェローシップ
- ・ 「味方（アライ）になる方法」に関するワークショップ
- ・ PRを活用し、このような行動を伝え、認識させる
- ・ ミーティングの中で、不適切な行動を取り上げるフォーマットを作成する
- ・ パンフレットを作成する
- ・ このプロジェクトを実施するために、#2ワークグループが作られた

ポイントパーソン：ジョアンナ  
マフ  
クレイ／退任SPコーディネーター  
ドニー  
マルディ

## 6. プロポーサル（提案）と決定

## 議案#1

昨年度会議の承認：[コンセンサス承認](#)

## 議案#2

アジェンダの承認：[コンセンサス承認](#)

## 議案#3

ZDとAlt.ZDの任期： ZDとAlt.ZDポジションの任期をAPFガイドラインに修正し、WSCサイクルに合わせることに合意した。

#### 議案 # 4

APF 2025 まで、ハメダンリージョンの議席要求の議論を延期する： **コンセンサス承認**

- ・ワークグループの設置
- ・連絡を密にする
- ・議事録に提案準備のための6ヶ月の時間枠の申請がある。RD3名と事務局から1名がワークグループを結成し、検討・推薦を行う (Willy、Joanna、Donnie)
- ・ワークグループは、ハメダンリージョンと連絡を取り、推薦を行う。

#### 議案 # 5

バーレーン2リージョンをAPFに加える： **コンセンサス 不支持**

#### 議案 # 6

カタールリージョンのAPF議席を認める： **コンセンサス承認**

選挙セッションを実施：

定数：19コミュニティ（うち1コミュニティはバーチャルコミュニティ）

議長：ビージェイ選出

女性FDコーディネーター：プージャ選出

FDコーディネーター：アミターブ選出

マーチャンダイズ・コーディネーター：プラシャント選出

ゾーン代表：ハシブ選出

ウェブコーディネーター：バツパ選出

セクレタリー：エシャン選出

会計：アリ当選

#### 議案 # 7

APF 2025年大会とコンベンションをオマーンで開催すること： **コンセンサス承認**

#### 議案 # 8

ストラテジックプランニングワークグループ

ジョアンナ：ポイントパーソン

- ・マフ
- ・退任SPコーディネーター
- ・ドニー
- ・マルディ

目標2に関するワークグループを結成し、行動計画を立てることに合意した。

## 議案 # 9

### 経費精算の提案：

現行のガイドラインに加え、資金提供された参加者の旅費の払い戻しは、ビザ取得後、または必要な場合、大会の最大90日前までに参加者とのオンラインコミュニケーションを通じて、電信送金または直接購入することができる。これはAPF2025会議まで試験的に実施される。管理者はAPF2025会議で、このプロセスに関する情報、フィードバック、勧告をサービス体に提供する。

### コンセンサス承認

## 法人化についての議案

### 議案 # 10

ニュージーランド政府にAPF法人を再登録する件

提案者：オーストラリア

賛成：ハワイ

ニュージーランド政府へのAPF法人再登録が承認された。

### 議案 # 11

法人化ワークグループの任期延長

提案者：オーストラリア

賛成：オーストラリア ハワイ

法人化ワークグループの任期を2025年APF会議まで延長することに合意した。

### 議案 # 12

2024-25年チャリティ・サイクルの役員を選出する件

提案者：オーストラリア

賛成：ニュージーランド

議長：ビージェイ

会計：アリ

セクレタリー：エシャン

FDコーディネーター：アミターブ

チャリタブルオフィサー：シャロン K

チャリタブルオフィサー：ロジャー S

管理・法人化ワークグループがこのサイクルに必要なことを行う権限を持つという例外を除き、提案12を受諾する。

承認された。

## 年次総会

### 議案 # 13

参加報告書に現金または現物を含む行を追加する件

承認された。

議案 # 1 4

予算

2024-25年度予算を承認する件

2024-25年度予算を承認

日本は、2025年APFでは予算と資金の使い方についてより詳細な話し合いを早い段階で行うよう要請した。

7. 会議日程

Asia Pacific Forum - Agenda March 4-7, 2024			
TIME	Monday March 4 2024	Tuesday March 5 2024	Wednesday March 6 2024
09:00	Daily Orientation - Karyn	Daily Orientation - Karyn	Daily Orientation - Karyn
09:15	Roll Call - Introductions - Bijay 2023 Minutes approval - Bijay Agenda approval - Bijay Basic CBDM review- Clay	SP1 -Solutions - Clay	SP2 - Resource discussion - Brainstorm/Prioritize Projects - Clay
10:30	<b>Morning Break</b>	<b>Morning Break</b>	<b>Morning Break</b>
11:00	Seating - Orientation - Discussion- Clay	NAWS 1	Public Relations Training - Nita Amitabh
11:45	Q&A for Trusted Servants Reports - Karyn Strategic Plan/Project Review - Clay Discussion Topics		Translations - Connecting Communities - Amitabh
12:30	<b>Lunch - 75 minutes</b>	<b>Lunch - 75 minutes</b>	<b>Lunch - 75 minutes</b>
01:45	Afternoon Re-Focus - Nita	Afternoon Re-Focus - Nita	Afternoon Re-Focus - Nita
02:00	News Update - WB	FD/WFD Training Session Amitabh/Nita	AGM - Performance report - Appointment of Charitable Officers - Hasib/Clay
02:30			
02:45			
03:00	BMLT Discussion - Bappa/Karyn	Discussion Topics - Clay	Remaining Discussion Items - Clay
03:15			
03:30	<b>Afternoon Break</b>	<b>Afternoon Break</b>	<b>Afternoon Break</b>
04:00	ZD Update - Ash	APF 2025 Bid introduction - Karyn/Hasib	Budget Presentation - NAWS Contribution - Hasib/Bijay
04:45	Discussion Topics - Clay Community Challenges Part 1 - Challenges	Reimbursement Discussion - Karyn/Hasib Discussion Topics - Divya	
05:30			Closing Ceremonies, Photos - Bijay
06:00			
06:30			
07:00	Welcome Dinner 2 hours	Seating Requirement Discussion	Action plan completion by Point Persons & SP in the evening

資料1：会計報告

[https://drive.google.com/file/d/18\\_xYuKHb40YAB6EV5Zgr1GLUbZNyS9Aa/view?ts=664a2bf7](https://drive.google.com/file/d/18_xYuKHb40YAB6EV5Zgr1GLUbZNyS9Aa/view?ts=664a2bf7)

資料2：役員報告

[https://drive.google.com/file/d/1bv2I1DJG9BWswTrPgGWg6\\_TBHaPplg1j/view?ts=664a2bb5](https://drive.google.com/file/d/1bv2I1DJG9BWswTrPgGWg6_TBHaPplg1j/view?ts=664a2bb5)

資料3：コミュニティレポート

[https://drive.google.com/file/d/1bCcE3f0DTxgaw2rZ\\_h4kr0pkUv\\_\\_A\\_uX/view?ts=664a2c32](https://drive.google.com/file/d/1bCcE3f0DTxgaw2rZ_h4kr0pkUv__A_uX/view?ts=664a2c32)

資料4：業績報告

<https://drive.google.com/file/d/1SrHpoPQw4xXA-mtmvVfohGp0aLmhcQ2Y/view>

資料5：ワークショップに関連するプレゼンテーション

<https://drive.google.com/file/d/1VmFpN2EraCqFFWAvi0H5NH5Z-S-UgiZo/view?ts=664a2b98>

APF RD マフ  
najapan.apf@gmail.com